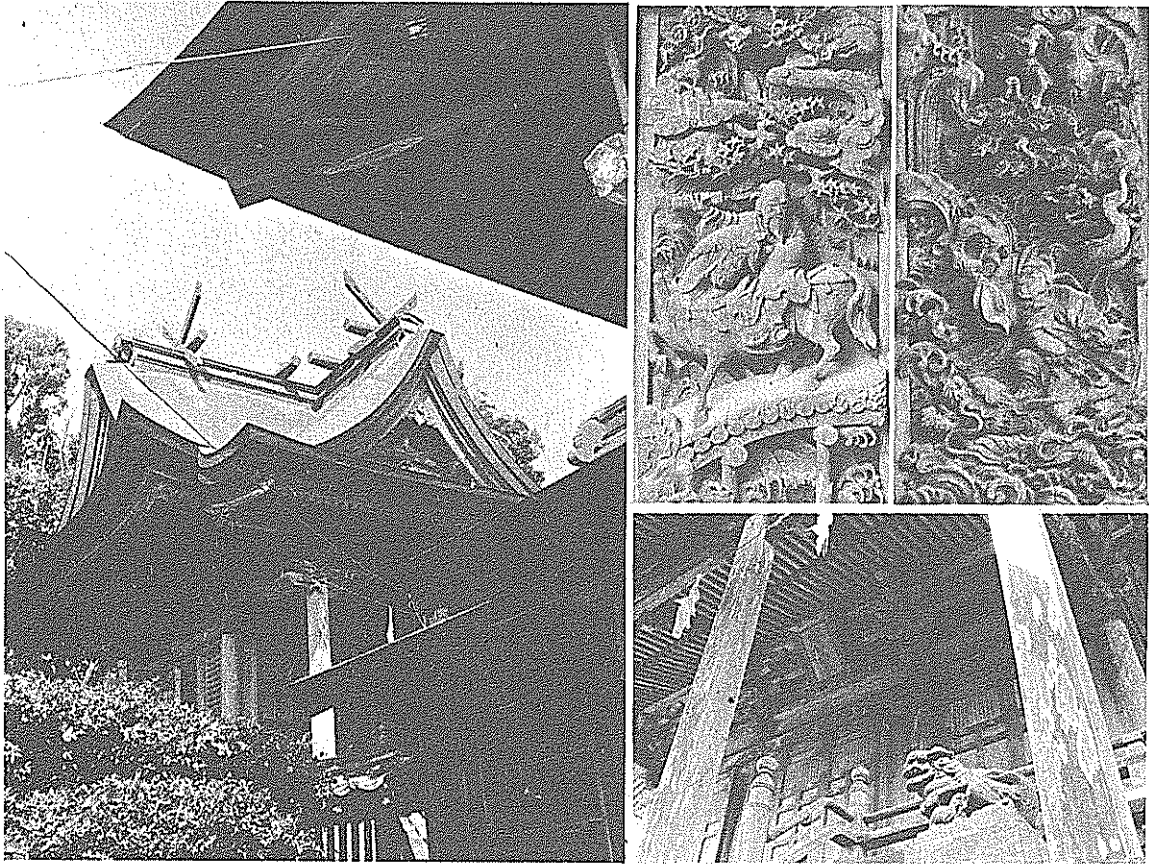


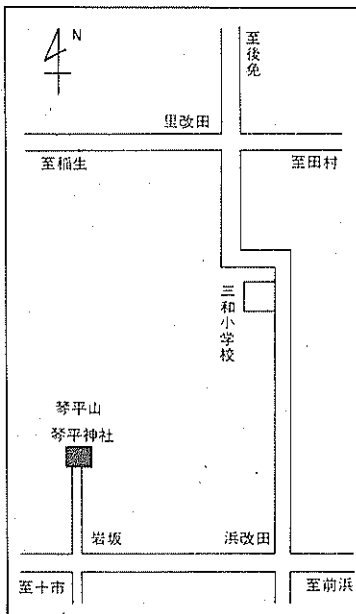
史跡・文化財めぐり⑦（琴平神社）



里改田の琴平山上にあり、大物主命と崇徳天皇をまつてある。これは天智天皇が、五穀の豊作と国民の幸福を願って、黒崎の宮をおまつりしたのがはじまりだといわれる。しかし天武天皇の白鳳13年(685)の大地震で、現在のところに移されたという。

本殿、拝殿、絵馬堂、神庫など壮麗である。境内はひろく、四方の眺めがよくて、観光地としての将来性もある。

いたるところにほどこされた彫物は島村三四郎の作とあってなかなかすばらしいものである。



広報 **なんこく**

11 / 15 1975 No.207
編集・発行／南国市広報委員会